

## 賛助会員訪問記

ネオアーク株式会社 訪問

ホームページ： <http://neoark.co.jp/>

2016年6月2日(木)13時30分～16時00分、ネオアーク株式会社 本社工場（東京都八王子市）を宮本泰敬総務理事、押木満雅事務局長および杉村比登美事務局職員の3名で訪問した。本社工場はJR八王子駅よりバスで北西に約15分、中央自動車道の脇にあった。応接室で阪江 修常務取締役、製造本部小西泰司本部長および営業部営業技術目黒栄主幹に対応していただいた。阪江氏よりネオアーク社の創業からの歴史、事業内容や試作製品などの説明を受けた。ネオアーク社は、1975年に東京都府中市で日本科学エンジニアリング（株）として当初設立され、レーザ部門、磁気部門および抵抗部門の三部門で製造・販売を開始した。1983年に現在の八王子に移転し、2001年にはネオアーク株式会社と現社名へ変更し今日に至っている。社員50名強のうちおよそ半数が磁気に関わっており、レーザ技術を駆使した磁気計測技術については、日本でさきがけとなっている。これまでに、測定試料に非接触で磁気特性評価が出来る、磁区観察装置や量産磁気ディスク装置用媒体・磁気ヘッドの磁気特性検査装置などを開発し、磁性研究者の必須研究装置として様々な箇所で使用されている。磁気計測装置の開発では、大学の先生方の要望を広く取り入れて試作機製作を行い、その後、社内でコストダウンなどを図ることによって、幅広いユーザーが導入しやすい汎用機器として販売するというビジネスモデルで進めている。技術展開にも積極的であり、展示会などで自社技術をアピールしながら、その技術用途拡大にアンテナを張っている。今後も“ユニットからシステムまで”機器開発に注力するべく、管理コスト低減の為にアウトソーシングを進めており、社内は少数精鋭を維持する体制で運営したいとのことである。今日の日本が豊かに栄えてきたのは大学などの科学技術研究成果が一般社会に普及してきたからであり、そのお手伝いができれば良いと考えている。そのほかレーザ関連技術では、長さの基準となる“メートル原器”に使われた「ヨウ素安定化 He-Ne レーザ」やモード同期ファイバリングレーザ「光コム」などのお話を戴いた。

会議室での説明の後、工場見学に移った。小西氏・目黒氏に第1工場と第2工場をご案内いただき、量産品光アッテネータ部品等の製造部署を拝見した。作業机や部品棚などが整然と並んでおり、少人数で作業がてきぱきと進められていた。また Kerr 偏光顕微鏡などの計測器のデモルームや、He-Ne レーザ製造装置・耐久性試験装置なども見学させていただき、レーザ管から漏れる美しい光色に魅了された。

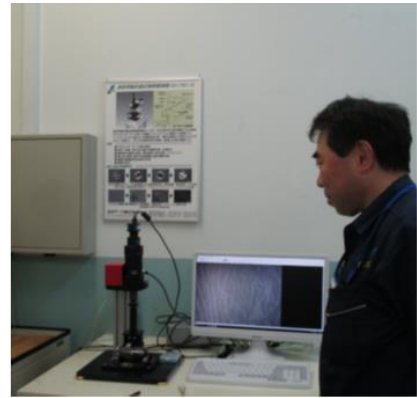
取材後、ネオアーク社のレーザ技術を用いた磁気計測技術は国内他社の追従を許さず、経済産業省「元気なモノ作り 300 社」など数多くの表彰を受けている事や、磁気を扱

## 賛助会員訪問記

う研究室に多く採用されて有力なデータを創出している事を知り、改めて同社の技術力の高さを再確認した次第である。



取材風景



磁区観察顕微鏡



He-Ne レーザ耐久性試験



本社前で